学校番号	414

令和８年度　学 子どもみらい

教科	学 子どもみらい	科目	保育演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	保育基礎　学習ノート（実教出版編修部）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・多くの体験学習を通して、乳幼児期の特徴を発達段階に応じて捉える力を身に付け、幼児教育を志すものとしての、心構えや実践態度を身に付けていきましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
乳幼児の発達と特徴、生活と保育などに関する知識を理解するとともに、それらにかかわる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
子どもの発達や保育に関わる現状について問題の中から課題発見し、解決策を練り、思考・実践・改善していく力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
様々な体験学習を通して、体系的に乳幼児期の特徴を捉え、子どもの発達や子育て支援に寄与する態度に繋げ、将来への「夢」を実現していく力を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	保育に関する基礎的･基本的な技術と子どもの発達の特性，生活と保育に関する知識を総合的に理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	子どもの発達や保育に関わる現状について問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践の評価・改善・考察をして課題を解決する力を身に付けている。	子どもの健やかな発達や保育に関心を持ち、寄与していこうとするとともに、次世代を見据えながら職業人としての像を描いていこうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	1章 子どもの保育	1、保育の意義 2、保育の方法 3、保育の環境	a：発達時期の特性を考慮した保育の工夫が必要であることを理解している。 b：保育者の役割を理解し，その資質や能力を身に付けるにはどのような点に気をつけていけばよいかをまとめている。 c：子どもを取り巻く環境が子どもの発達に大きな影響を与えることを理解し，発達段階における発達課題に応じて，接し方・援助の仕方・適切な保育環境整備について考えようとしている。	定期考査	ワークシート 定期考査	観察 振り返りシート
	2章 子どもの発達	1、子どもの発達の特性 2、子どものからだの発達 3、子どもの心の発達 4、月齢，年齢別の発育・発達 5、子どもとかかわってみよう(保育実習)	a：誕生から幼児期までの子どもの身体発育，運動機能，認知機能などそれぞれの発達の特性について理解している。 b：それぞれの月齢・年齢ごとの身体的・生理的特徴に関心を持ち，保育に関連づけてまとめている。 c：子どもの心の発達の特徴と発達の経過について考えようとしている。	定期考査	ワークシート 定期考査	観察 振り返りシート
二学期	3章 子どもの生活	1、子どもの生活と養護 2、生活習慣の形成 3、健康管理と事故防止	a：子どもの食生活や衣生活について子どもの健康的な生活を支える保育の基礎的な技術を身に付けている。 b：子どもが生活習慣を身につけるための援助の方法について考えを深め発表している。 c：子どもの生活に関心を持ち，主体的に子どもの生活を考えようとしている。	定期考査	ワークシート 定期考査	観察 振り返りシート

	4章　子どもの文化	1、子どもの文化の意義と支える場 2、子どもの遊びと表現活動	a: 子どもの発達や特性をふまえた上で，子どもの遊具等の作成に取り組み，子どもの遊びや表現活動に関連する技術を身に付けている。 b: 子どもの文化の意義、役割や今後の課題についてまとめている。 c: 子どもの文化の意義を理解し，それらの役割や今後の課題について具体的に考えようとしている。	定期考査	ワークシート 定 期 考 査	観察 振り返りシート
三学期	5章　子どもの福祉	1、子ども観 2、子どもの福祉 3、子育て支援	a: 子ども観の変遷や，権利の主体として尊重されつつある状況を理解している。 b: 児童福祉の基本的な考え方について理解し，子どもの幸福について自分の意見や考えをまとめている。 c: 児童虐待の現状と対策や子育ての現状をふまえて，これからの子育て支援を考えようとしている。	ワークシート	ワークシート	観察 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度